

## 令和4年度 第3回高齢者支援部会

### 議事録

日 時: 令和5年2月27日(月)

19時30分～20時15分

場 所: 帯広市役所10階 第3会議室

#### (会議次第)

##### 1 開会

##### 2 会議

(1) 令和4年度第2回高齢者支援部会議事録の確認

(2) 令和5年度予算(案)について

(3) 第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

##### 3 その他

##### 4 閉会

#### (委員・専門委員)

##### ●出席(9名)

小林委員、山本委員、野水委員、下坪委員、畠山専門委員、東専門委員、川向専門委員、野尻専門委員、鈴木専門委員

#### (事務局)

##### ●介護高齢福祉課

佐藤課長、野原主幹、斉藤係長、新鞍係長、渡部主任補

##### ●地域福祉課

永田課長、中山課長補佐

#### (議事録)

##### ●事務局

ただいまから、帯広市健康生活支援審議会第3回高齢者支援部会を開会いたします。

本日は、委員及び専門委員9名中9名のご出席により、過半数のご出席をいただいておりますので、本専門部会は、帯広市健康生活支援審議会条例施行規則第4条第1項の規定により、成立しておりますことをご報告させていただきます。

議事に入ります前に、本日の資料を確認させていただきます。

事前に皆様に送付しております、

- ・会議次第
- ・資料1 令和4年度第2回高齢者支援部会議事録
- ・資料2-1 一般会計予算案(概要)
- ・資料2-2 一般会計予算案(事業別)

- ・資料3-1 介護保険会計予算案(概要)
- ・資料3-2 介護保険会計予算案(事業別)(歳出分)
- ・資料3-3 介護保険会計予算案(事業別)(歳入分)
- ・資料4 介護保険事業の概要
- ・資料5 第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定概要

また、机上に配布しております、

・座席表

以上の資料につきまして、不足等ございましたら、ここでお申し付けください。

よろしいでしょうか。

それでは、以後の進行は部会長にお願いいたします。

#### ●部会長

それでは、会議次第の「2 会議」に入らせていただきます。

最初に、(1)の「令和4年度第2回高齢者支援部会議事録の確認」でございますが、資料1「令和4年度第2回高齢者支援部会議事録」をご覧ください。

こちらの議事録につきましては、この場で皆様にご確認いただいた後、帯広市のホームページ上に公開する予定でございます。

議事録の内容につきまして、皆様からご意見ご質問はございますか。

よろしいでしょうか。ではご承認いただいたということで、こちらの議事録を公開させていただきます。

次に、(2)「令和5年度予算(案)」について、事務局より説明願います。

#### ●事務局

それでは、資料2-1、「令和5年度 介護高齢福祉課 一般会計予算案(概要)」をご覧ください。

まずは、表題のすぐ下でございます、一般会計の総事業費は、7億5,269万2千円となっております。

主な事業費につきましては、その下にあります「老人福祉費」となっておりまして、7億4,281万6千円となっております。

個別の事業費の主な増減の理由につきまして、説明してまいります。

黒丸2つ目の「老人福祉施設建設補助事業費(債務負担解消)」は4,564万8千円、前年対比-8.8%となっております。施設の建設補助の償還が1か所終了したことから減少するものです。

次に、黒丸6つ目の「敬老祝金支給事業費」は3,209万7千円、前年対比+3.0%となっており、対象者となる高齢者数の増加が要因となっております。

次に、黒丸8つ目の「生活支援ハウス運営事業費」は4,428万1千円、前年対比+4.9%となっております。これにつきましては、灯油・ガソリン単価など燃料費の高騰が要因です。

資料2-2については、令和2年度以降の事業費別の予算額及び決算額の推移を記載しておりますので、後ほどご覧ください。

以上が、令和5年度一般会計予算案の概要でございます。

続きまして、資料3-1の「令和5年度、介護保険会計予算案(概要)」の説明に移ります。

まず、表題のすぐ下に記載している介護保険会計の総事業費ですが、令和5年度は165億7,379万6千円を計上しております。

次に、前年予算対比で増減率が大きなものについてご説明いたします。

まず、左側からですが、上から一つ目の囲みの「保険給付費」につきましては、後程、資料4の方で説明いたします。

上から4つ目の囲みの、「包括的支援事業費」中の3つ目の●「在宅医療・介護連携推進事業費」につきましては、88万2千円で、-33.6%となっております。こちらにつきましては、令和4年度に住民啓発とし

て講演会ならびに写真展を開催しましたが、令和5年度は住民啓発の実施内容が異なるため、報償費や使用料及び賃借料が前年比で減額となっております。

次に、1番下の囲みの「任意事業費」中の1番下の●「重度筋萎縮性側索硬化症(ALS)支援事業費」につきましては、13万円で、-50.0%となっております。

こちらにつきましては、近年利用実績がないことから、対象者を2人から1人に減らしたことに伴い減額となっております。

右側に移りまして、上から4つ目の囲みの「一般管理費」中の2つ目の●「一般管理事務費(臨時)」につきましては、277万円で、-55.9%となっております。

こちらにつきましては、令和4年度に、第九期計画策定のためのアンケート調査を実施しており、それに伴う郵便料や委託料などの金額が大きかったこともあり、減額となっております。

1番下の囲みの「介護認定審査会費」中の1番下の●「認定調査費」、8,013万円で、-16.2%につきましては、これまでの介護保険制度改正により、要介護認定更新申請に係る有効認定期間が、24、36、48か月と延長されてきていることにともない、令和5年度は更新申請の対象となる方が、令和4年度に比べ少ない年となっております、手数料や調査委託料などが減額となっております。

資料3-2と3-3の方に、細かくなりますが、令和2年度以降の事業費別の予算額及び決算額の推移を記載しております。

続きまして、資料4「介護保険事業の概要」の説明に移ります。

1ページ目の「被保険者の状況」をご覧ください。

まず、1番目の「第1号被保険者数(65歳以上)」についてです。上半分に載せております、表には、本市における平成21年度以降の人口や、第1号被保険者数の推移を記載しております。

表の左側、平成21年度の総人口は168,523人、第1号被保険者数は36,711人、被保険者比率は21.78%となっておりますが、右側にずっといきまして、令和4年度になりますと、総人口は164,014人、第1号被保険者数は49,274人、被保険者比率は30.04%となっております。一番右に記載しております、第八期計画における令和5年度の推計値では、被保険者比率を30.52%と見込んでおります。

下半分に記載しております、グラフにつきましては、棒グラフは本市の人口、折れ線グラフは第1号被保険者数を表しており、人口が徐々に減少している一方で、第1号被保険者数は徐々に増加していることが分かります。

続きまして、2ページ目をご覧ください。2番目の「要支援・要介護認定者数」についてです。

表の左端の中段の「合計④」の行につきましては、各年度における要介護認定者数の平均値を記載しており、平成21年度は6,659人でしたが、右側にずっといきまして、令和4年度は、10,849人で、平成21年度の約1.6倍に増加しております。

更に右に記載しております、第八期計画における令和5年度の推計値は、11,574人です。

介護度別の傾向につきましては、表の1番下の行の「軽度認定者の割合」に、要支援・要介護認定者のうち比較的軽度な要支援1から要介護1までの方の割合を記載しており、令和4年度は58.54%となっております。軽度認定者の割合が増加してきている理由につきましては、介護保険制度の浸透や、地域包括支援センターなどの制度の周知の取り組みなどにより、早い段階で介護認定を受けて、自立に向けた介護サービスを利用される方が増えたことが、介護の重度化の抑制に繋がっているものと考えております。

今後、団塊の世代の高年齢化により、この割合を維持することが難しくなっていくものと予測されますが、第八期計画期間中においては、57%台を維持してまいりたいと考えております。

続きまして、3ページ目をご覧ください。

次に、「介護保険給付費の状況」についてです。

表の左から4列目1番下をご覧ください。第八期計画の計画値の令和4年度は、合計151億3,433万3千円を見込んでおり、右側に4列ずれていただきまして、第八期計画の実績値の令和4年度(見込)は、合計148億8,250万5千円となっております。1番右側の列の令和4年度の計画と実績の対比率をご覧ください

だと、98.3%となっており、概ね計画どおりに進捗しております。

令和4年度の給付費の増減理由等は、グラフの下段に記載しております。

続きまして、4ページ目をご覧ください。

次に、「介護サービス別利用量の実績と計画」についてです。

こちらの表では、令和4年度のサービスの利用人数や回数における計画と実績(見込み)及び執行率につきまして、サービスの種類ごとに比較しています。併せて、令和5年度の計画値及び予算値について記載しております。

左側の表、「介護給付」のうち、令和4年度の執行率が計画値と大きく乖離している項目について説明いたします。

まずは、短期入所系サービスにつきまして、短期入所生活介護(特養のショートステイ)が69.3%、短期入所療養介護(老健のショートステイ)が47.5%となっておりまして、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う、利用の減少が主な要因となっております。

次に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護につきましては、24時間対応型の唯一の在宅サービスであり、計画策定時よりもニーズの高くなっており、120.5%となっております。

次に、認知症対応型通所介護につきましても、少人数で認知症ケアに特化したサービスを受けられることなどから計画策定時よりもニーズが高くなっており、125.2%となっております。

なお、右側の予防給付の表につきましては、介護給付と概ね同様の動きとなっております。

続きまして、5ページ目をご覧ください。

最後に、「介護保険料の状況」についてです。

1番目の「段階別保険料」につきましては、第七期における平成30年度から令和2年度、第八期における令和3年度からの所得段階別保険料額を記載しております。

第八期の保険料につきましては、基準額となる第5段階が月額5,890円となり、第七期から100円の増となっております。令和5年度については変更ありません。

2番目の「保険料の収納状況(現年度分)」につきましては、表の1番右下、令和4年度の収納率は12月末時点では66.65%となっておりますが、年度末には例年並みの収納率に落ち着くものと考えております。

その下の3番目、「令和4年度保険料の収納状況」につきましては、年金からの天引きで納める特別徴収と納付書や口座振替で納める普通徴収、それぞれの収納状況の内訳を記載しております。説明は以上でございます。

#### ●部会長

ただ今の説明について、ご意見やご質問はございますか。

#### ●委員

資料2-2の歳出、「ひとり暮らし高齢者緊急通報システム事業費」についてですが、高齢者は年々増えているにもかかわらず、こちらの事業費の予算が年々減っているのはなぜでしょうか。

#### ●事務局

年々、緊急通報システムの設置件数が減っているためです。設置件数が減っている理由としましては、民間の警備会社がシェアを伸ばしていることが考えられます。

#### ●委員

資料3-1の「介護認定審査会費」の「認定調査費」についてですが、前年比-16.2%でかなり減っていると思いますが、件数にするとどれくらいの減少になるのでしょうか。

●事務局

ただいま、数字を持ち合わせておりませんので、後ほどお答えできればと思います。

●部会長

令和5年度は件数が減って、令和6年度は増える見込みでしょうか。

●事務局

その通りです。コロナ延長の制度が終了し、高齢者の増加に伴って、増えるものと見込んでおります。

●委員

令和5年度にコロナ延長が終了となるにもかかわらず、令和4年度から予算が減少することがピンとこないのですが。

●事務局

認定月数の関係で、一概に、高齢者が増えているから件数が増えるものではなく、過去の実績に基づいて推計を行ったところ、令和4年度よりも令和5年度の件数が減る見込みとなりました。

●部会長

それでは、資料4の2ページをご覧ください。軽度認定者の割合が高い水準で保てているのは、介護認定と予防給付しっかり行われているためだと思うので、この傾向を保てて行ければいいと思います。その他にはいかがでしょうか。

●委員

資料2-2で、歳出のほうで広聴広報費というものがありますが、令和3年度は予算が計上されておりますが、令和4、5年度については0となっているのはなぜでしょうか。

●事務局

第八期計画は令和3～5年度の期間になりまして、広報広聴費は、計画の初年度に、計画のお知らせを広報紙に載せるための予算となります。そのため、今回は第九期計画の初年度である令和6年度に予算計上する予定です。

●委員

資料の4の2ページについて、軽度認定者の方たちがサービスを利用しているとの説明があったかと思いますが、肌感覚になりますが、介護保険制度を活用することに関して、市民の方から、どのようなサービスがあるか分からないという声があり、いろいろないい資料はあるのに、浸透していないという印象があるので、何か、年に一度でも二度でも、広報活動を行えば、もっと浸透率が上がるのではないかと思ったので、ご質問いたしました。

●事務局

よろしいでしょうか。先ほど、令和4年度から令和5年度の件数がどのくらい減るのかというご質問を頂きましたが、申請件数が2千件減る見込みです。

●部会長

かしこまりました。

●事務局

また、先ほどの広報についてのお話ですが、今年の3月号の広報紙でも、一面に地域包括支援センターの記事を載せておりました、地域包括支援センターや認知症のことなど、毎年、広報紙に増ページという形で記事を掲載し、介護予防という視点も含めて、啓発を行っているところでございます。

●委員

資料3-1の「一般介護予防事業費」について、前年比-2%に減っている理由はなぜでしょうか。

●事務局

実績に合わせて減らただけでして、若干、全体の回数は減っておりますが、振り替えておりますので、実績が落ち込んでいるというわけではありません。例年どおり実施して参ります。消耗品費等で調整しておりますが、基本的には変更ありません。

●委員

分かりました。最近、自主活動やサークルの方たちが、コロナの影響により、ここ3年間で少なくなっていて、教える人も少なくなっていて、さらに、参加する人が少なくなっているという話を聞いたので、自主活動団体が減っていることが影響しているのではないかと思ひ質問しました。

●部会長

次に、(3)「第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定」について、事務局より説明願います。

●事務局

第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定概要につきまして、資料5をご覧ください。

計画策定作業の審議につきましては、当部会と健康づくり支援部会に委任されているものでございます。第九期計画は、令和6年度から令和8年度までを計画期間とし、令和5年度に策定を行ってまいります。

第九期計画の策定にあたっては、第八期計画中における介護給付実績や総合事業の評価、高齢者保健福祉施策の検証をはじめ、アンケート調査の分析結果を踏まえて施策に反映していきます。

また、団塊の世代が後期高齢者となっていく中、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた計画を策定します。

計画の策定のスケジュールにつきましては、既実施しております高齢者及び介護事業者、介護労働者を対象としたアンケート調査のほか、5月から6月頃には市民や関係団体との意見交換会を行う予定です。

関係団体の皆さまとは改めて日程調整等をさせていただきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、12月には1か月間の期間を設けて、パブリックコメントを実施していきたいと思っております。

計画の審議及びとりまとめにつきましては、合同部会において3回の審議を予定しており、8月頃にアンケート結果と意見交換会の報告、計画骨子案をお示しさせていただきます、11月頃に計画原案としてお諮りしたいと考えています。

最終的に、来年2月頃にパブリックコメントの結果報告と、計画案の審議をいただき、3月に成案にしてまいります。

裏面には策定スケジュールの予定といたしまして、合同部会の開催の時期、関連する議会関係の厚生委員会への報告時期と内容等をお示ししております。

現段階におけるスケジュールとなっておりますが、先程ご説明したような流れのもとで、令和5年度は合同部会において全3回の審議を予定しております。来年3月末には計画を公表しまして、4月頃に委員の皆様へ冊子を配布する予定です。

策定につきましては、委員の皆様にご審議をいただき進めてまいりますので、ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

説明は以上です。

●部会長

ただ今の説明について、ご意見やご質問はございますか。

●部会長

本日の議事は以上ですが、その他、何かございますか。

それでは、以上で予定されていた議事はすべて終了いたしました。

本日の高齢者支援部会はこれにて閉会と致します。皆様、大変お疲れさまでございました。